

# めぐみの学校の子

## 恵田を愛する -いつまでも恵田っ子-

毎朝、キジ、コジュケイ、ウグイス、春の野鳥の声が聞こえる。我が家でも子どものころはウグイスの声を聞くことができた。

恵田では、四季折々の自然にふれることができる。少し前の校長室だよりでも伝えたが、「キジ、コジュケイ、ウグイス」は春の季語となる。春には春の野鳥の声が聞こえる。恵田の自然は、日本の四季をきっちりと残している。恵田の魅力の一つだ。

先日の卒業を祝う会で、メッセージいただいた先生方にお礼をしたところ、有理先生からはメールをいただいた。

「メッセージの言葉を考えるために、あの子たちの1年生と3年生のときの恵田っ子文集や学級通信を見返しました。……子どもたちと2年間も一緒に過ごせて私の方こそ感謝の気持ちでいっぱいです。恵田小を離れてみると、恵田小の良さが本当によくわかります。また、恵田学区がどれだけ温かい学区なのかを実感しました。私にとっては恵田が教員生活の故郷です。……卒業式の成功をお祈り申し上げます。」

「めぐみのさと」である恵田の魅力の一つは自然の豊かさである。その他にも多くの良さがあると思うが、そのなかには、地域の皆様、保護者の皆様の学校への温かい気持ちがある。そして、「めぐみの学校の子」、恵田っ子も魅力の一つであり、恵田の宝である。

恵田小に勤められた先生方は、有理先生と同じ思いでいてくださる。いつまでも恵田っ子である卒業生。恵田を愛する心を持ち続けてほしい。



### 恵田っ子へ

もっている時間（じかん）はいのち

六年生の恵田っ子のみなさん、先日、卒業を祝う会では、心にしみる美しい音色での演奏、ありがとうございました。そして、恵田小学校ご卒業（そつぎょう）、おめでとうございませう。六年間（ろくねんかん）いっしょにすごしてきたみなさんとの別（わか）れは、とてもさびしいです。巣立（すだ）ちゆくみなさん一人一人の活躍（かつやく）を心（こころ）からお祈（いの）りしています。卒業式（そつぎしき）で紹介（しょうかい）した日野原重明（ひのはらしげあき）先生（せんせい）のことばです。



「いのちとは、君（きみ）たちのもっている時間（じかん）、君（きみ）たちが使（つか）える時間（じかん）のことです。いのちも時間も目（め）に見えなければ、君（きみ）たちはそれをもっていて使う（つか）ことができます。これから先（さき）、まだまだたくさんもっている君（きみ）たちの時間は、君（きみ）たちのいのちなのです。」

心（こころ）にとめ、時間を、いのちを大切（たいせつ）にしていてほしいです。

恵田小 校長室だより  
平成三十一年三月二十日

No. 122